

3.9 霊長類学総合ゼミナール

The Interdisciplinary Seminar on Primatology 2020

日時：2020年12月10日（金）

場所：京都大学霊長類研究所 大会議室、Zoomにてオンライン開催

発表：15件（口頭：15件）

霊長類学総合ゼミナールは霊長類学系の正式なカリキュラムに組み込まれており、毎年TAを中心とした大学院生が企画運営し、所内の教員、研究員、学生の研究交流を促進することを目的として開催されている。本年は、新型コロナウイルスの流行をうけZoom開催とした。国内の院生・研究員から海外留学生・研究者まで多様な層からの参加を設け、口頭による研究発表と修士課程1年の学生や博士編入予定研究生による研究計画発表を実施した。密集を避けるため、例年実施していたポスター発表と、これまで5回実施され好評であった「霊長類研究所 写真展」は残念ながら実施しなかった。

特別企画として、「Interview of alumni」と題して霊長類研究所の卒業生10人にインタビューを行い、録画編集したものを全編に英語字幕を付けてZoomにて上映した。隔地研究所である本研究所では学生数も少なく、卒業後の進路や院生の就職活動についての情報が限られている。民間企業や大学の研究職、動物園のエデュケーターや教員といった多様な進路を選んだ修士卒および博士卒の卒業生に、学生時代の取り組みや卒業後のご活躍を伺い、現役学生および教員へ霊長類研究所の卒業生とその進路を紹介する機会となった。卒業生との交流や、進路を考えるきっかけとなれば幸いである。

【霊長類学総合ゼミナール 2020 プログラム】

<口頭発表1・研究計画>

1. 平田 一葉（系統発生・大学院生）"Differences in microwear of Japanese macaques between and within regions"
2. Abdullah LANGGENG（社会生態分野・大学院生）"Investigating the effects of Japanese macaques hot spring bathing behavior on parasitism and gut microbiome"
3. 林 咲良（ゲノム細胞分野・大学院生）"Clarification of genes that lead to adaptation of owl monkeys to nocturnal lifestyle"
4. 濱寄 裕介（高次脳機能分野・大学院生）"The influence of early life social environment on pair-bond in common marmosets"
5. 高安 環（統合脳システム分野・研究生）"Pathway-selective optogenetic manipulation of the primate oculomotor system"
6. 沼部 令奈（ゲノム細胞分野・大学院生）"The relation between the polymorphism of TAS2Rs and their perception of bitter taste"
7. 南 俊行（社会生態分野・大学院生）"Short- and long-term effects of infant handling on development of infants in free-ranging Japanese macaques (*Macaca fuscata*)"
8. Anastasiia KOVBA（人類進化モデル研究センター・大学院生）"Effect of short-term ART treatment on the HIV-1 reservoir"
9. 戸塚めぐみ（高次脳機能分野・大学院生）"The role of the subgenual anterior cingulate cortex in emotional information processing"
10. 金子明日香（認知学習分野・大学院生）"Investigation for Cognitive and Affective Mechanisms that Produce Social Bias and Their Relevance to Neurodevelopmental Disorder"

<口頭発表2・自由演題>

1. David FASBENDER（社会生態分野・大学院生）"Bonobo social structure in a seasonal forest fragment"
2. 武 真祈子（社会生態分野・大学院生）"Co-sleeping by a father? Potential paternity in golden-faced saki (*Pithecia chrysocephala*)"
3. 野々村 聡（統合脳システム分野・特定助教）"Monitoring and Updating of Action Selection for Goal-Directed Behavior through the Striatal Direct and Indirect Pathways"
4. 稲葉 明彦（ゲノム細胞分野・大学院生）"Generation of the 3D-culture system of macaques for the functional analysis of intestinal tuft cells"
5. Kenneth KEUK（社会生態分野・大学院生）"Primate and Parasite communities in Sabah: the biodiversity-disease relationship across a Bornean landscape"

<特別企画> "Interview of Alumni"

・参加卒業生（修了年度/分野/現職）
磯村朋子（理学博士・2015年/認知学習/名古屋大学・准教授）

Yena KIM (理学博士・2017年/思考言語/ライデン大学・研究員)
Rafaela Sayuri TAKESHITA (理学博士 2018年/社会生態/ケント州立大学・研究員)
Cintia GARAI (理学博士・2015年/社会生態/Kahuzi-Biega 国立公園・コンサルタントおよび霊長類専門家)

黒木康太 (理学修士・2018年/ゲノム進化/株式会社 LTS・コンサルタント)
宮本俊彦 (理学修士・1994年/系統発生/高田南城高校・教員)
岡村弘樹 (理学修士・2018年/社会生態/ブロッコリー収穫作業員, 小笠原諸島調査補助員)
瀧山拓哉 (理学修士・2019年/思考言語/野村総合研究所・コンサルタント)
柘植仁美 (理学修士・2018年/統合脳システム/国立研究開発法人科学技術振興機構・職員)
若森参 (理学博士・2020年/形態進化/東京動物園協会・エデュケーター)

(総合ゼミ TA 浅見真生)